



平成 30 年 9 月 23 日秋のお茶会にお手伝いいただいた方
杉浦恵子さん杉浦美智子さん杉浦佐知子さん谷山美保子さん杉浦博子さん

帰敬式

新たに仏教の信者になる儀式を帰敬式(ききょうしき)といいます。
結婚などで新たに家族になられた方に、普仙寺の檀信徒として、本尊様にお参りして頂きたいと思い、御案内したところ、岡田安代さん、谷山高子さん、杉浦恭代さんの参加を頂きました。



住職の短歌

平成29年・30年に詠んだ短歌の続き([前回は30年7月号](#))を掲載します。

平成29年

庭先の黄色小花の女郎花姿優しい婦人のようだ

陽を浴びて力いっぱい咲いている紫色の桔梗がいいな

近づいて薄の花の写真撮る風の揺らぎの間の中で

夏の日ハイビスカスの赤い花南の国の音が聞こえる

サルビアの花を見るたび思い出す叶わぬ恋の歌の旋律

ペントスは星の形の夏小花赤もピンクも白も可愛い

八月の最後の朝の伊吹山背後の空は高い白雲

東山山科草津柘植上野初秋の夜に電車乗り継ぐ

伊賀上野開化寺の朝本堂は説教僧の声のみ響く

浄土宗二十九年学術の大会開く秋の東京

知恩院職員同士会話する金木犀の匂いの便り

この秋の菊の香りを待っている二人歩いてどこまで行こう

藤袴花瓶に生けて眺めてる君の横顔僕はすきだな

秋の日の塀の上には杜鵑草花も蕾もダンスしている

石菫の黄色の花が美しい秋の京都をそぞろ歩けば

街路樹は燃える色した花水木深まる秋に君の面影

鮮やかな朱色がいいね錦木は艶で競えば君が最高

知恩院秋の詠唱大会に導師勤めて詠歌唱える

川端は桜紅葉の赤の色君と歩いた古都の晩秋

少しずつ紅葉色した伊吹山秋の姿もまた美しい

江津市の総合市民会館で三祖の歌詞の和讃唱える

魚津市の文化ホールで講演す越中国の霊場巡り

晩秋の伊吹の山は二段色紅黄緑と冠雪の白

庭園の満天星躑躅赤がいい私いますと語りかけてる

十二月冬陽の中の伊吹山静穏にしてしかも泰然

梔子の丸く黄色い実が光る師走京都の小道歩けば

曇天の空の下には冠雪の霊峰伊吹毅然の姿

車窓より銀嶺伊吹厳然と過ぎる麓は忽ちの靄

十二月土曜の朝の滋賀平野枯れ田を走る自転車二台

十二月八手の花が咲いていた祖師の霊場石段の下

平成30年

平成の三十年が始まった平和な年でありますように

水仙の花の白さが好きですと君は言った喫茶の店で

小寒の朝日に光る伊吹山南斜面は純粹の白

雪の朝成人式の知恩院献灯献華振り袖揺れて

一月の雪の富士山窓の外韓国女子に予告案内

雪残る東京芝の増上寺国の議員と共に念仏

厳寒の夜の三門人集う皆既月食空を見上げて

山頂は白銀光る伊吹山二月二日の朝の一瞬

米原は白一色の雪の中ホームに立てば頬に寒風

庭園の池の辺りに椿の木薄紅色の蕾見つけた

立春の養老山地雪被る尾根を重ねた姿険しい

坂道の梅木の様子眺めてる枝の先には小さな蕾

堂々の伊吹の山の雪姿二月の空に独り輝く

頂は姿も見えず雲の中伊吹の山の冬の光景

秋の茶会

9月23日、秋彼岸法要の日に檀信徒会館にて秋の茶会を開催しました。

華頂婦人会の役員の方が、お運び、お手前をして頂きました。ありがとうございました。



寺行事案内

土曜礼拝 どうらいはい

毎週土曜日午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

内容

- ①浄土日常勤行式
- ②法然上人御法語拝読
- ③住職の法話

法然上人御法語の予定

- 後編第二十一章 随順佛教
- 後編第二十二章 退縁悪知識
- 後編第二十三章 慈悲加祐
- 後編第二十四章 滅罪増上縁

秋彼岸会 あきひがんえ

平成30年10月23日(日・祝)午後1時～2時30分

檀信徒各家のご回向を致します。

御回向の方法に2種類ありますので、どちらかひとつをお選び下さい。

1. 封筒読み上げ回向
彼岸回向封筒に記入された先祖代々名または戒名を読み上げて、ご回向します。回向料はお気持ちです。
2. 塔婆回向
先祖代々名または戒名の塔婆にてご回向します。所定の申込用紙にて事前にお申込下さい。回向料は1霊3,500円です。

秋の茶会あきのちやかい

平成30年10月23日(日・祝)午前9時～午後1時

檀信徒会館の和室でお抹茶をご用意します。

月並法要つきなみほうよう

11月8日(木)午後7時より

月に一度、檀信徒の皆様 でお参りする法要です。どなたでもお参り下さい。

内容

- ①浄土日常勤行式
- ②一枚起請文拝読
- ③詠唱奉納
- ④住職の法話

法要中、年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。